

CASBEE® 戸建-新築

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築 (2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2010v1.2

1-1 建物概要

建物名称	稲城エコハウス	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2013年12月	竣工	持ち込み家電等	確定
建設地	東京都稲城市百村	外構の仕様		確定
用途地域	第1種低層住居専用地域、第1種住居地域	確定		
省エネルギー-地域区分	IV			
構造・構法	木造在来	確定		
階数	2			
敷地面積	134 m ²	確定		
建築面積	61 m ²	確定		
延床面積	123 m ²	確定		
世帯人数	2	確定		

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
〈備考〉		
評価の実施日		
作成者		
確認日		
確認者		

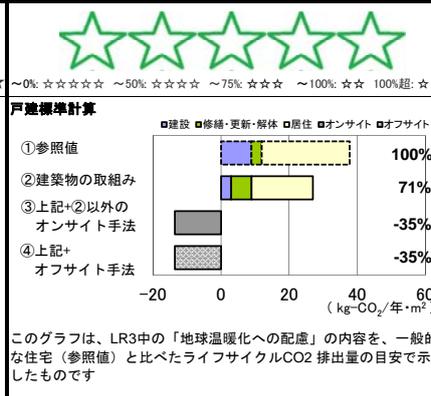
1-2 外観



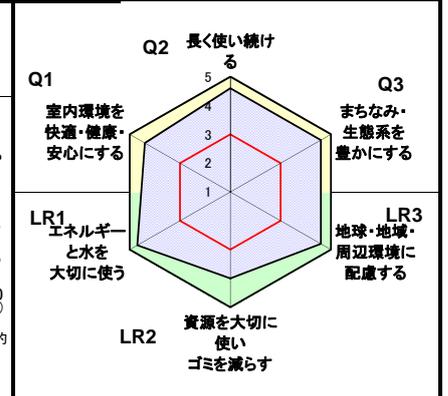
2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)



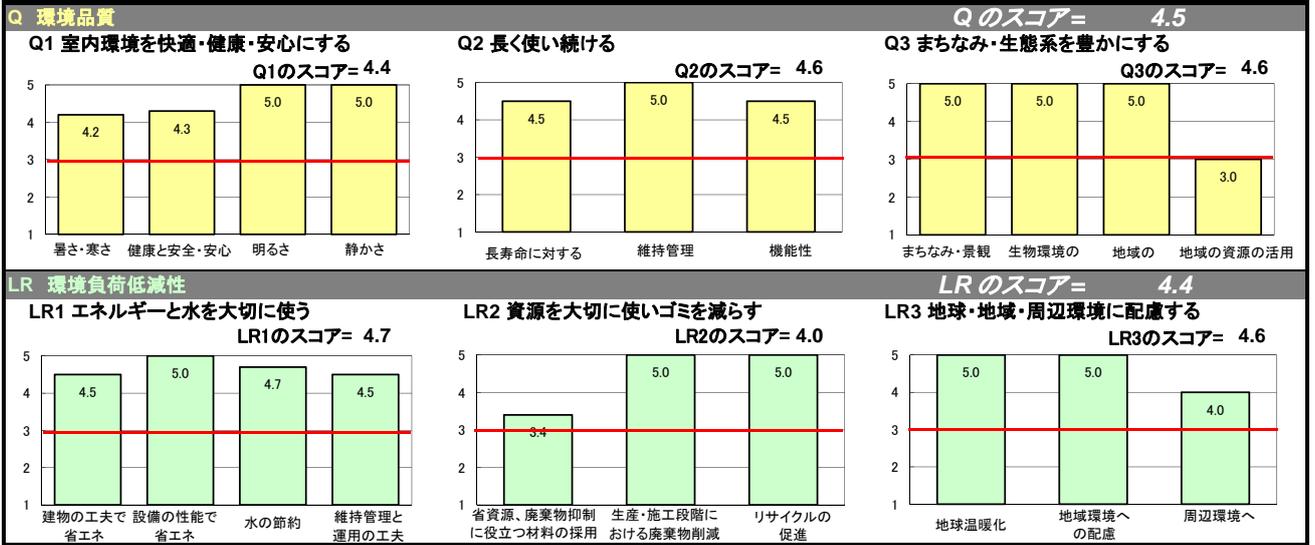
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>断熱性能、日射調整機能、通風・排熱性を高めて、居住性を向上させつつ冷暖房負荷を軽減。さらに、高効率設備機器の導入と大規模太陽光発電により、エネルギー自給率300%超を目指すとともに、ライフサイクルカーボンマイナス(LCCM)を実現した。高い耐震性能、長寿命化、節水・雨水利用、生態系や景観への配慮などとともに、総合的にサステイナブルな仕様とした。</p>	<p>その他</p> <p>バルコニーと軒の出、さらに落葉樹を利用した日射調整、ウィンドキャッチャー窓を用いた卓越風の活用も、快適な室内空間づくりと省エネに貢献する。アプローチをスロープにし、すべてのドアを引戸にしつつ段差をなくし、バリアフリーにも配慮した。</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>断熱性能、日射調整機能、通風・排熱機能を強化し、高性能エアコンを用いた暖房・冷房計画を行った。居室の南面に大きな開口をとり昼光を十分に活用するとともに、遮音性の高いサッシを用いた。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>構造躯体については、耐震等級3および劣化対策等級3を満たす。外壁材・設備配管は更新性を高める仕様とした。長期の計画的維持管理体制と維持管理に必要な情報を整備している。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>建物における工夫で冷暖房負荷を削減しつつ、高効率の給湯器やエアコンなどの機器を導入することで、徹底的に省エネルギーを図る。南向きの片流れ屋根に11.4kWの太陽光発電を設置し、再生可能エネルギーを最大限に活用。節水機器を導入するとともに、雨水タンクを設置して灌漑の灌水に利用している。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>構造材の過半は、持続可能性が証明された国産材を用いた。プレカット過程で発生した端材をチップなどに再生している。現場では、副産物の分別・回収を行っている。躯体・内外装材を特定できる情報を住まい手に提供して、将来の改修・解体時のリサイクルに配慮した。</p>
<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>敷地内の降雨は地下浸透させるとともに、一部は雨水タンクに貯留して灌漑に利用している。生ごみ処理設備を設置し、厨芥を堆肥に変えて利用している。地域生態系に適した多様な植物を選定し、環境保全と生物多様性に配慮した。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>本体外装と外構材はライトベージュ系の同系色でまとめた。太陽光発電パネルも屋根と一体感の高い仕様とした。オープン外構とし、敷地内をできる限り緑化した。緑地の連続化に努め、多様な樹木・草本類を植栽した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)